

日本鐵鋼協會記事

◎編輯會

大正七年六月四日(火曜日)午後五時より本會事務所に於て編輯委員會を開き會誌第四年第六號の原稿を選定せり。當日出席者は左の諸氏なり。

野 呂 景 義 俵 國 一 香 村 小 錄
川 上 義 弘 井 上 克 己 室 井 嘉 治 馬

◎評議員會

大正七年六月十八日(火曜日)午後五時より本會事務所に於て評議員會を開きたり當日決議事項左の如し。

一、會誌印刷及紙料等騰貴の爲め會費の補足として弘く賛成會員を募り一ケ年々金五拾圓乃至百圓以上を向ふ
二ケ年間出金を乞ふ事

一、理事及評議員各一名補缺選舉の結果報告
理事補缺選舉の結果前會長野呂景義君當選せられた

評議員補缺選舉の結果井上禧之助君當選せられたり

一、退會申出者承認の件

一、北海道製鐵株式會社より申込の會誌寄贈の件

一、東京帝國大學工科學探礦學科及冶金學科へ會誌各一部宛寄贈の件

以上

被寄贈

今般會員今泉嘉一郎君より本會々誌編輯費として金五千圓寄贈せられたり

被寄贈 丸善株式會社より向井哲吉著坩堝製鋼と電氣製鋼と題する書籍壹部寄贈せられたり

◎入退會者

前號報告後入退會を承認せられたる會員左の如し。

入 會 者 (住所及職業)

大阪市南區順慶町三丁目二十七番屋敷	正會員	山陽製鐵株式會社
東京市小石川區久堅町七四	同	平澤千萬人
東京府下上澁谷二四	同	朝比奈 林之助
福岡縣八幡市鬼ヶ原官舎	同	東 海 勇 藏
東京市芝區高輪南町三十番地	同	後 藤 一 策
茨城縣多賀郡日立村	同	久原鐵業株式會社
同	准會員	日立鐵山倉庫係
東京市深川區扇橋町一ノ十五東京製鋼株式會社員	同	寺田祥太郎
東京市本郷區弓町一ノ二	同	老 田 豐 吉
東京市深川區靈岸町一二二	同	藤澤藤太郎
東京市日本橋區兜町三山一合資會社	同	堀 田 正 由
福岡縣戸畑町明治專門學校內學生	同	高 山 實
東京府荏原郡入新井村新井宿九五六	同	今 井 敏
東京府南品川淺間臺二三二	同	伊 藤 吉 郎
福岡市外馬出村寺中七六九高田方	同	揚 鑄 成
東京市牛込區河田町十	同	高 野 康
東京砲兵工廠員	同	

群馬縣山田郡大間々町日本鐵合金株式會社內同

贊 武 次

退會者

准會員	飯島作藏	同	岡克己
同	長澤政治	同	吉田磯吉
同	本田杉松	同	内川俊雄
同	渡邊友彦	同	吉松民次郎
同	平田又左衛門	同	力身萬吉
同	東野治三郎	同	山縣保二郎
同	伊香賀照治	同	瀧川長雄
同	古賀正助	同	

◎轉居 (新住所左の如し)

東京市麴町區丸ノ内三菱商事株式會社氣付	杉山三五郎
朝鮮黃海道兼二浦三菱製鐵所	井上順三
大阪府西成郡千船村大字蒲島四三ノ三六	木下亮吉
小倉市鍛冶町一〇一	高柳錠太郎
大阪府西成郡鷺洲町南浦江	紅谷藤次郎
兵庫縣武庫郡芦屋村ノ内茶屋	鈴木重彦
北海道室蘭輪西村北海道製鐵株式會社支店	鈴木鐵熊
東京市下谷區上野櫻木町二永井方	大屋敦
東京府大井町一五八〇	砂河俊介
神戸市京町八二番館内田商事株式會社	村上武輔
長崎市內中町一四	篠原哲十郎
若松市帝國鑛物株式會社	石原熊吉
群馬縣大間々町日本鐵合金株式會社	牧武雄
大阪市西區築港八條通二ノ一五	實敏夫
東京市牛込區原町三ノ八二	中野義雄
橫濱市住吉町二ノ二二小宮方	中川健二
東京府千駄ヶ谷町八七一	陸路錄